



環境省

エコアクション21

認証番号 0002589

エコアクション21
エコアクション21



環境経営レポート

2024年度

2023年10月～2024年9月

作成日 2024年10月21日

更新日 2025年 5月13日



株式会社

高野実業

〈 Contents 〉

	頁
表紙.....	1
目次.....	2
環境経営方針.....	3
組織の概要.....	4
事業内容.....	5
対象範囲・処理工程図.....	6
環境経営システム実施体制.....	7
環境経営目標.....	8
環境経営計画の内容.....	9
期間実績・評価・課題.....	10・11
環境関連法規等の順守状況.....	12
代表者による全体の評価と見直し・指示.....	13



～ エゴ から エコ へ

株式会社 高野実業



環境経営方針

【環境理念】

株式会社高野実業は、古紙リサイクルという『環境』分野に社会的責任のある業の中で、紙の原料となる貴重な森林資源を守り、従業員一人ひとりが環境への心配りを持ち、事業活動のあらゆる面で『地球環境の保全』に配慮し、環境経営の継続的改善に努め循環型社会の構築を目指します。

【環境行動原則】

自主的な3R活動(Reduce／発生抑制・Reuse／再使用・Recycle／再資源化)と環境パフォーマンスの継続的改善並びに環境関連法規等の遵守等により、『環境経営システムの構築と運用』に努めます。

【環境行動指針】

当社は、古紙等の再生資源回収事業活動において、従業員一人ひとりが地球環境保全に配慮し、以下の項目に取り組んでまいります。

1. 廃棄物の収集運搬の効率化、中間処理(選別など)の効率を良くし、二酸化炭素排出量削減を行っていく。(省エネルギー)
2. 廃棄物排出量削減を行う。(不良品削減・再使用・リサイクル)
3. 節水対策など総排水量削減を行う。(節水)
4. 排出事業者への情報提供や分別指導を行う。
5. 市・町内などの古紙回収を通し地域の環境社会に貢献していく。
6. 小学校などへ出向き紙リサイクルの意義について啓蒙する。
7. 環境関連法規等の遵守に努め、環境教育の充実(社員教育)を図る。

この環境経営方針を全社員に周知し、環境経営レポートとして公表します。

制定日 2007年11月 1日

改定日 2023年10月16日

株式会社 高野実業

代表取締役 高野 久則

組 織 の 概 要

* 事業者名および代表者氏名

事業者名	株式会社 高野実業
代表者氏名	高野 久則
設立年月日	昭和51年 1月
資本金	1000万円

* 所在地

本社・本社工場	〒418-0001 静岡県富士宮市万野原新田 3748 番地の 1
外神第一倉庫	〒418-0006 静岡県富士宮市外神 600

* 環境管理責任者

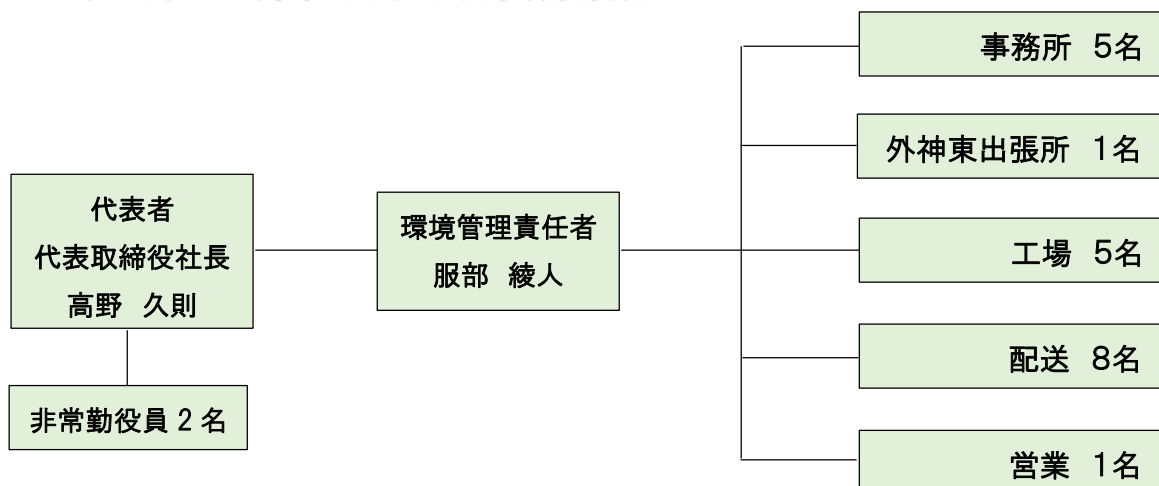
氏名	服部 綾人
連絡先	TEL : 0544-27-3295 FAX : 0544-24-3142
E-mail	buddy2167@gmail.com

* 事業規模

項目	単位	2022 年度	2023 年度	2024 年度
売 上 高	百万円	432	471	438
取扱量(古紙等・産廃)	t	19901	20056	18797
内産廃運搬／処分量	t	1866	1444	1479
内リサイクル量	t	383	284	84
従業員数	人	22	22	22
敷 地	m ²	6759	6759	6759
床面積	m ²	4960	4960	4960

* 組織図 (2024年10月1日)

2014年10月1日 高野 久則 代表取締役就任



事業内容

＊設備	
油圧プレス機（300馬力）	
一軸式万能破碎機（90kw）	
コンピューター計量機（静岡県公認検量所／40t）	
巻取り断裁機	

＊車両		
フォークリフト	バケット／回転式／その他	13台
トラック	15t ウイング車	2台
トラック	4t 脱着装置付コンテナ専用車	1台
トラック	4t ウイング車	3台
トラック	4t ダンプ車	1台
トラック	4t 塵芥車	4台
トラック	3t キャブオーバー車	1台
営業車	普通車／軽	2台

＊事業内容		
業 種	許 認 可 等	取 扱 品 目
再生資源の仕入販売業	再生事業者登録 廃再第 47 号 古物商 第 491110076000 号	古紙類全般 金属類
産業廃棄物収集運搬業	許可番号 第 02201037608 号 許可年月日 令和 3 年 1 月 11 日 有効年月日 令和 8 年 1 月 10 日	紙くず・廃プラスチック類 金属くず・木くず
産業廃棄物処分業	許可番号 第 02221037608 号 許可年月日 令和 4 年 7 月 24 日 有効年月日 令和 9 年 7 月 23 日	①圧縮梱包処分 紙くず・廃プラスチック類 金属くず・木くず ②破碎処分 紙くず・廃プラスチック類
計量証明事業	鉄工団地検量所 静岡県公認登録第 72-2 号	40t

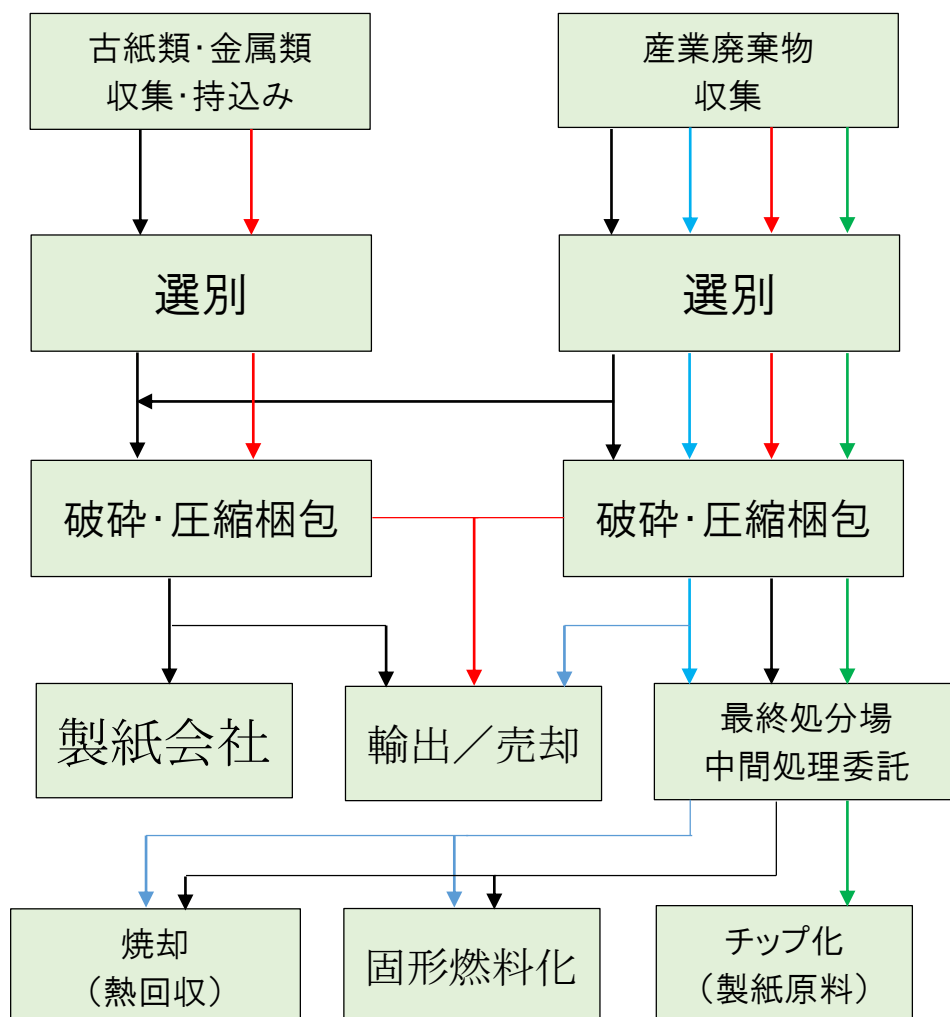
＊圧縮梱包施設の処理能力			
廃プラスチック類	416.64t／日（8.0 時間）	金属くず	1346.64t／日（8.0 時間）
紙くず	482.80t／日（8.0 時間）	木くず	652.16t／日（8.0 時間）
＊破碎施設の処理能力			
廃プラスチック類	4.80t／日（8.0 時間）	紙くず	32.64t／日（8.0 時間）

対象範囲(認証・登録範囲)

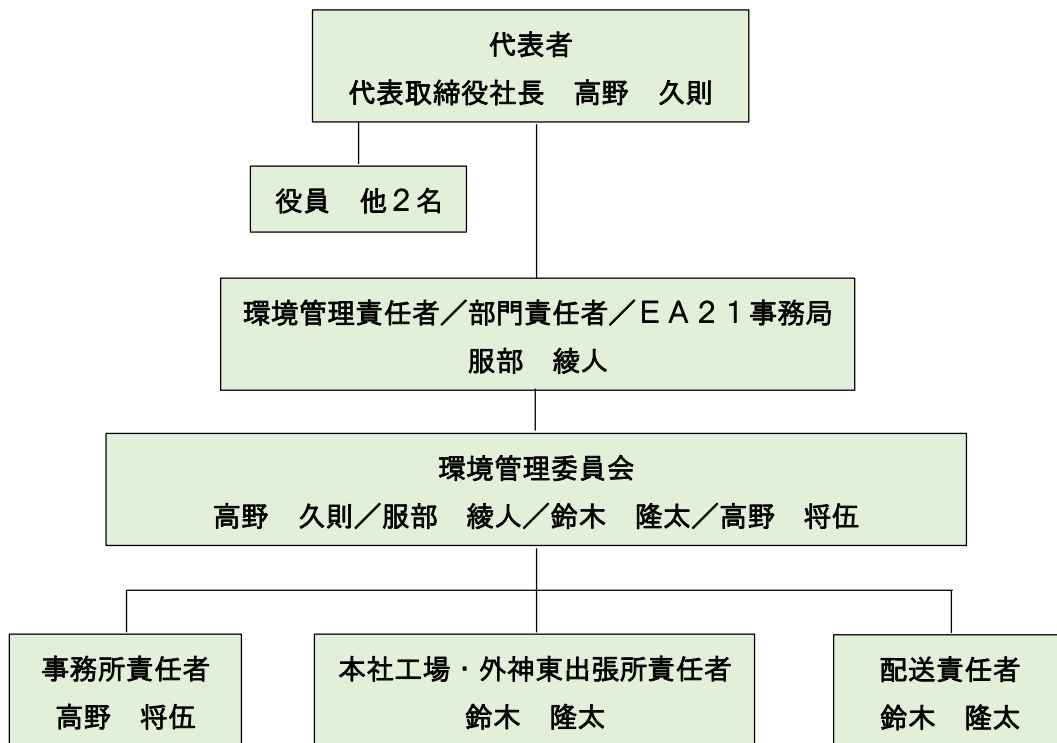
- * 対象組織 : 組織の概要(事業者名および代表者氏名、所在地)に記載
- * 対象活動 : 再生資源の仕入れ販売業、産業廃棄物収集運搬・中間処分業、計量証明事業

処理工程図

* 紙 → / 廃プラスチック類 → / 金属くず → / 木くず →



環境経営システム実施体制



役 割	責任および権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 経営における課題とチャンスをつまみ環境経営方針の制定 3. 社内情報の外部公開可否決定 4. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 5. 環境経営全体の取組状況及びその効果を定期的に評価し、見直しを実施、必要な指示を行う
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持および継続的改善 2. 代表者への環境経営システムの実施状況報告 3. 諮問機関である環境委員会の委員長として委員会の運営 4. 推進機関であるEA21の事務局の責任者として事務局を運営 5. それぞれの業務・役割に応じ必要な教育訓練を適切に計画・実施する 6. 環境関連法規等の遵守について確認
部門責任者	1. 自部門の実施計画の立案、実施状況の確認、記録を行う 2. 作業教育の実施

(回覧ルート : 代表者 → 各部門責任者)

環境経営目標

取 組 項 目		基準年度 2022年度 21.10~22.9	2023年度 目標 22.10~23.9	2024年度 目標 23.10~24.9	2025年度 目標 24.10~25.9
二酸化炭素 排出量の 削減	対比年度		基準年度	基準年度	基準年度
	電力+化石燃料合計 (kg-CO2)	(308610)	-	-	-
	1トン当りのkg-CO2	15.51	15.36	15.19	15.04
	削減率	-	1%	2%	3%
	電力 (kg-CO2)	(85155)	-	-	-
	1トン当りのkg-CO2	4.28	4.24	4.19	4.15
	削減率	-	1%	2%	3%
	化石燃料合計 (kg-CO2)	(223455)	-	-	-
	1トン当りのkg-CO2	11.23	11.12	11.00	10.89
	削減率	-	1%	2%	3%
コピー用紙 使用量の 削減	対比年度		基準年度	基準年度	基準年度
	コピー用紙の使用量 (kg)	138.6	137.2	135.8	134.4
	削減率	-	1%	2%	3%
1本当りの 生産時間の 削減	対比年度		基準年度	基準年度	基準年度
	プレス1本当りの生産時間 (m)	9.52	9.43	9.33	9.24
	削減率	-	1%	2%	3%
1トン当りの 軽油使用量 の削減	対比年度		基準年度	基準年度	基準年度
	1トン当りの軽油使用量 (ℓ)	3.77	3.73	3.70	3.660
	削減率	-	1%	2%	3%
総排水量の 削減	対比年度		基準年度	基準年度	基準年度
	上水の使用量削減 (M3)	469	464	459	454
	削減率	-	1%	2%	3%
環境教育／ 保全	対比年度		基準年度	基準年度	基準年度
	従業員の環境意識の向上 【社員教育実施回数】	11回／年	12回／年	12回／年	12回／年
	出前授業実施回数	5回／年	5回／年	5回／年	5回／年
	環境社会貢献 【市町村等の古紙回収実施回数】	1回以上／日	1回以上／日	1回以上／日	1回以上／日
	排出事業者への情報提供や分別 指導	都度実施	都度実施	都度実施	都度実施

* 電力のCO2排出係数 : 東京電力エナジーパートナーの 0.376kg-CO2/kWhを使用

環境経営計画の内容

項 目	活 動	2023 年度 評価	2024 年度 活動計画
二酸化炭素排出量の削減	休憩時間等の未使用電源オフ活動	○	継続
	朝ミーティングでの作業の効率化	○	継続
	冷暖房の温度調整	○	継続
	無駄なアイドリングのストップ	○	継続
	収集運搬作業の効率化	○	継続
	工場作業員・運送係の教育指導	○	継続
	作業日程の見直しによる効率化	○	継続
コピー用紙使用量の削減	コピーの裏面使用の徹底	○	継続
	コピー前の文章内容確認の徹底	○	継続
	書式統一の実施	△	継続
	支払回数削減	△	継続
	書類の電子化	△	継続
プレス 1 本当りの生産時間の削減	入荷物の把握	△	継続
	プレス前保管場所の見直し	○	継続
	プレス機投入方法の見直し	○	継続
	プレス順序の見直し	○	継続
古紙 1 トン当りの軽油使用量の削減	古紙回収ルートの定期的な見直し	○	継続
	複数社相積みによる効率化	△	継続
	回収日程の見直し	△	継続
総排水量の削減	節水の啓蒙活動	△	継続
	トイレの流量調整	○	継続
	配管管理および修繕	○	継続
環境教育・保全	従業員の環境教育の実施	○	継続
	出前授業実施	△	継続
	市町村の古紙回収実施	○	継続
	排出業者への情報提供	○	継続
	月に 1 度以上の顧客訪問の実施	○	継続
	古紙品質教育の実施	○	継続

期間実績・評価・課題

取 組 事 項		状 況		評価／課題	
1t当りの 二酸化炭素 排出量の 削減	合計 基準年度 15.51 kg-CO2	目標		評価	×
		15.19kg-CO2	2.0%減	古紙及び廃棄物の発生量が減少しているのに、 特に化石燃料使用量については回収ルートの見 直しなど早急に対応する必要がある	
		実績			
		16.24kg-CO2	6.9%増		
	電力 基準年度 4.28 kg-CO2	目標		評価	○
		4.19kg-CO2	2.0%減	取扱貨物量の減少及び作業工程の見直しにより 効率の良い作業につながり減少した	
		実績			
		4.03kg-CO2	3.8%減		
	化石燃料 基準年度 11.23 kg-CO2	目標		評価	×
		11.00kg-CO2	2.0%減	1顧客当りの回収量が減少しており、単位当たり の化石燃料使用量が増加したが、年間の化石燃 料使用量は昨年度対比で減少した	
		実績			
		12.22kg-CO2	11.1%増		
コピー用紙使用量の削減 基準年度 138.6kg		目標		評価	○
		135.8kg	2.0%減	公官庁への申請を電子申請にすることでコピー用 紙の使用量削減に寄与した。今後は請求書等の 電子化を進めたい	
		実績			
		132.3kg	2.6%減		
プレス1本当りの 生産時間の削減 基準年度 9.52 分		目標		評価	○
		9.33 分	2.0%減	構内作業の手順や保管場所を変更したことで作 業の効率化が図れた	
		実績			
		8.36 分	10.4%減		
古紙1トン当りの 軽油使用量の削減 基準年度 3.770ℓ		目標		評価	×
		3.700ℓ	2.0%減	既存顧客各社からの発生量が減少しているが、 回収ルートの見直しが十分ではない。今後は回 収頻度を含め検討する	
		実績			
		4.190ℓ	13.2%増		
総排水量の削減 基準年度 469 m³		目標		評価	×
		459 m³	2.0%減	目立った増加要因は見当たらないが、引き続き節 水に努める	
		実績			
		478 m³	4.1%増		

取 組 事 項	状 況		評価／課題	
社員教育	目標	12 回／年	評価	▲
	実績	10 回／年	コロナウィルス感染拡大防止の観点から、2 回は資料配布のみとなった	
出前授業	目標	5 回／年	評価	○
	実績	5 回／年	小学校へ出向き、古紙リサイクルについての講義及び紙漉き体験を行った	
環境社会貢献	目標	1 回以上／日	評価	○
	実績	1 回以上／日	町内会設置の回収ボックス回収の頻度を上げることができた	
排 出 事 業 者 へ の 情報提供	目標	都度実施	評価	○
	実績	都度実施	今年度はコロナウィルス感染拡大の影響で、顧客訪問回数は減少したが電話で対応した	

環境関連法規等の遵守状況

作成日：2024年10月21日

作成者：環境管理責任者 服部 綾人

当社の環境関連法規取りまとめ表の遵守を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関、住民からの指摘、訴訟等は過去3年間一度もありませんでした。

関連法規の名称	関連項目	順守評価
廃棄物処理法	収集・運搬・処理・保管・報告・マニフェストに関する業務全般及び許可更新	○
道路交通法	道路交通法全般	○
道路運送車両法	車両の車検及び車検証	○
消防法（施行令、施行規則）	事故通知・指定可燃物貯蔵および取扱い・防火対象物の届出	○
同上	消防用設備の保守点検	○
自動車リサイクル法	使用済み車両のリサイクル	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化義務	○
古物営業法	古物商の営業全般	○
労働安全衛生法	フォークリフト運転免許	○
騒音・振動規制法	騒音・振動規制施設	○
浄化槽法	浄化槽の清掃・保守・点検	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例（騒音）	エアコン室外機等の騒音（届出対象2台）	○
フロン排出抑制法	エアコン室外機等のリサイクル時のフロン等の回収およびフロン漏洩簡易点検の実施	○
計量法	適正な計量事業実施と計量機の保守・点検	○

* 詳細は別紙【法規制等一覧表】に記載

代表者による全体評価と見直し・指示

* 総評

今年度はコロナウィルス蔓延による行動制限が緩和されコロナ前の生活にもどり、インバウンド旅行客数も過去最高を更新する勢いではあるが、旅行客の消費行動は「物」から「事」に変化し物品販売は低調のまま推移している。また、歴史的な円安の影響を受け輸入品の価格が上昇したことで物価の上昇を招き製品値上げが依然として続いているため、買い控えなど消費が落ち込んだままである。消費が上向き「物」が流通して初めてパッケージ（包装用）などの紙の消費につながるため、古紙及び産廃の発生量は低調のまま推移している。物価上昇を上回る賃上げが行われれば消費も上向くと思われるが、現在の中小企業の状況を鑑みるにそれほどの賃上げは難しいと思われる。引続き我慢の状況が続くと感じている。

古紙及び産廃の取扱量の減少に伴って電力使用量及び化石燃料使用量は減少したが、1顧客からの発生量がそれ以上に減少しているため、単位当たりの使用量は増加した。

* 二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量は増加した。電力使用量及び化石燃料使用量は減少したが、1か所当りの古紙及び産廃の回収数量の減少により1t当りの電力使用量及び化石燃料使用量は増加となった。物価高による買い控えで物流が停滞しており、暫くは厳しい状況が続くと思っている。また、電子化の影響を受け新聞・雑誌の減少が加速しており外部設置の回収ボックスの運用も見直す必要がある。

* 1本当りの生産時間及び1t当りの軽油使用量

前述の通り古紙及び廃棄物発生量が減少したことにより、1運行当りの回収量が減少したため1t当りの軽油使用量は増加した。一方で工場内の動線を見直すなど作業の効率化を図ったことにより1本当りの生産時間は減少した。

* その他

今年度はコピー用紙の使用量は減少した。公官庁への申請業務については積極的に電子申請を利用しているが、今後は請求書等の電子化に取り組みたい。総排水量は増加に転じた。特段上水道をより多く使用した感じはないが、日々の積み重ねによるものだと思いますので、改めて節水につき啓蒙いたします。

* 来年度に向けて

来年度についても引き続き消費活動に大きな変化は見られないと感じており、既存顧客からの古紙及び廃棄物の発生は横ばいで推移すると考えています。新規顧客の獲得に注力するのはもちろんのことですが、コスト削減をどこまで出来るかが重要なポイントとなりますので、現在有するハードを効率良く活用するなど全社員で知恵を絞り目標を達成したいと思います。その他目標を達成している項目につきましても、引き続き社員に対し環境教育を行い環境に対する意識を向上させ、来年度も環境に配慮できる結果を出す努力をして参ります。

2024年 10月 21日

株式会社 高野実業

代表取締役社長 高野 久則